

Lifesupport☆ボランティアだより

ねん がつごう
2021年1月号

(社福) ライフサポート協会 障がいグループホーム/ボランティアコーディネーター 朝倉

2020年もみなさまには大変お世話になりました。予定していたイベントやボランティアは予定通りには行なえませんでした。人数や時間帯を制限させていただきお会いすることができた方もいらっしゃいました。みなさま本当に協力ありがとうございました。

各部署ともに年末はクリスマスイベントでボランティアさんを募集させていただくのですが、この第三波の感染拡大に伴い今年は控えさせていただきました。乾燥する時期ですし、みなさまどうか健康でこの状況を乗り越えましょう。本年もどうぞよろしくお願いいたします！



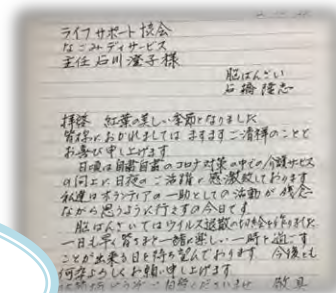
あけましておめでとうございます!

今年もよろしくお祈りします♪

ボランティアさんより感謝のお手紙をいただきました!

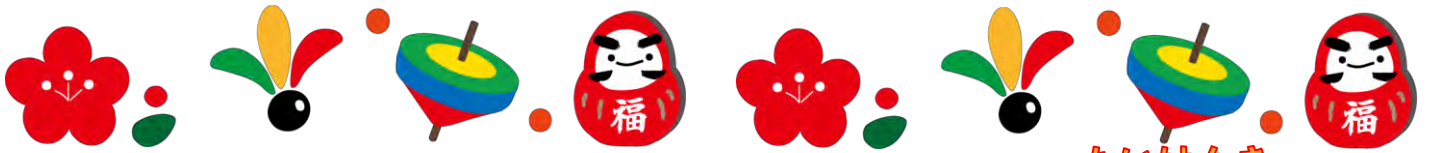
なごみデイサービスにボランティアで来られていた「脳ばんざい」さんより、お手紙と切り絵でのアマビエを作って送って下さいました!

早くマスクをはずして過ごせる日が
きますように~!!!!



祈願 疫病退散





たいけんき

◇わたしのボランティア体験記◇

大領地域の家で、るーぶ班スタッフの藤田さんです♪るーぶ班はおもにアートやもの作りを中心とした作業所になります♪



私が初めてボランティアをしたのは高校1年生の夏休みでした。学校で付属幼稚園の夏季保育ボランティアを募集していたのです。私は2日間年長クラスで活動しました。活動内容はプールの授業での見守り、着替えや片付けの補助、絵本の読み聞かせ、休み時間に一緒に遊ぶなどです。休み時間、一緒に絵本を読んだとき「手助けをしてもらいながら自分で読みたい子」「全部読んでほしい子」色んな子がいました。着替えでもひとりひとりのペースの違いを感じました。

最終日、お迎えを待っている年少クラスの男の子がやってきて「ぼくブリッジできるねん！」と得意げにやっていますが身体も小さく、あまり支えきれいていません。それから一年後またボランティアに応募しましたが当たらず…3年生の夏に再び幼稚園を訪れることが出来ました。今回も年長クラスです。休み時間「せんせい！えほんよんで！」と私の隣に来た男の子がいました。絵本を読みながらふと名前を見ると、大きくなっていて分からなかったのですがブリッジを見せてくれた男の子でした。その時はブリッジを見せてもらうことはできませんでしたが、身体も大きくなってたくましく見えました。

2回の活動を通して子どもたちの成長や一人ひとりの違いを感じ、またサポートする活動も多くあったので、「サポートがしたい」という今の仕事にも繋がっている想いを感じられたボランティア体験でした。

◇年末年始のお知らせ

ボランティア窓口、住吉総合福祉センターともに12月29日(火)～1月3日(日)まで

休館となります。来年の開所日は1月4日(月)～になりますのでご了承下さい。

2021年もライフサポート協会をよろしくお願ひ致します。



ボランティア窓口

〒558-0054 大阪市住吉区帝塚山東5-8-3 住吉総合福祉センター

(社福) ライフサポート協会ボランティアコーディネーター 崎本・奥谷・朝倉

TEL : 06-6678-7572 Email : volun-cheer-fully@lifesupport.or.jp

